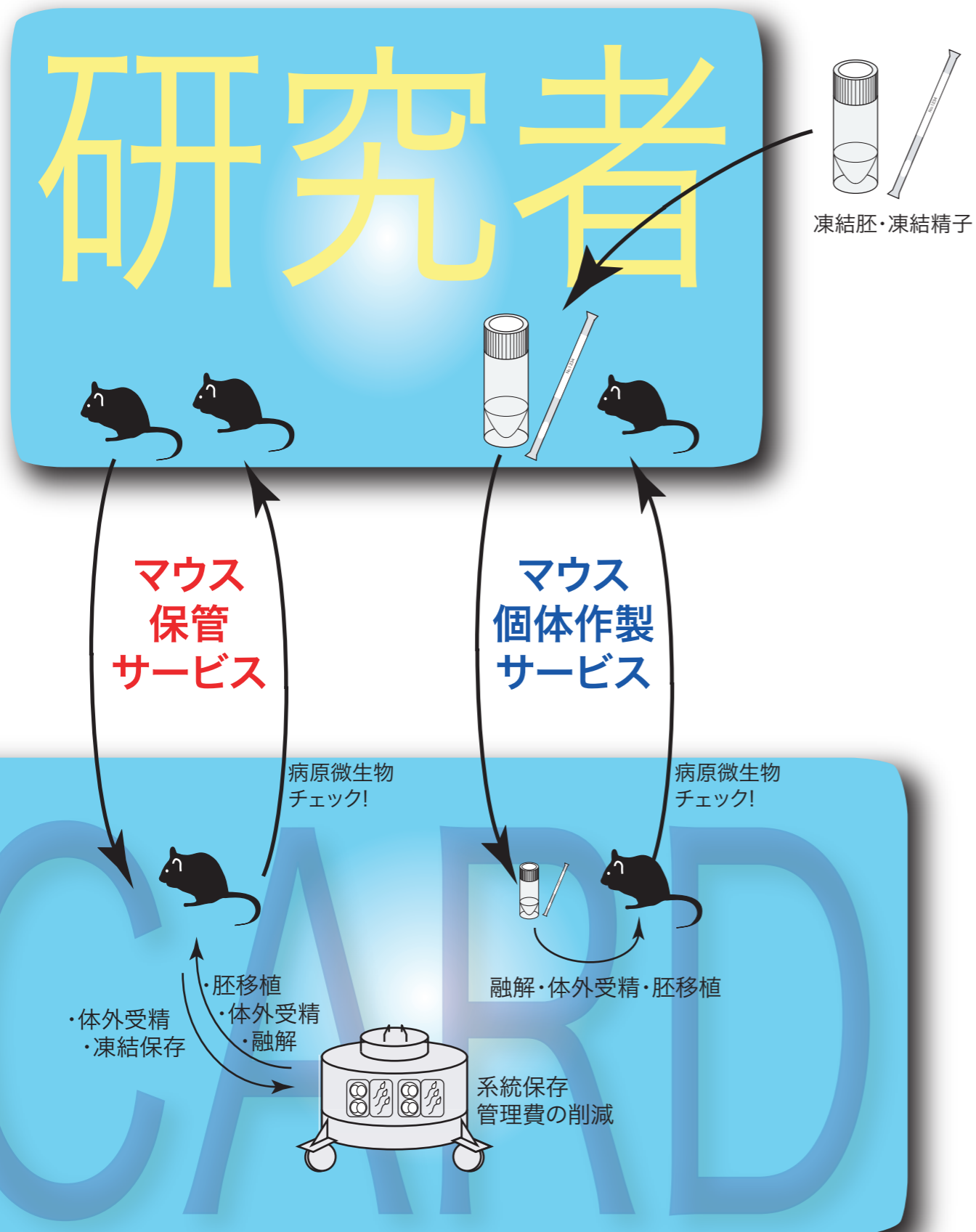




# CARD有償マウスバンクシステム



マウスバンクシステムとは、...  
貴重な研究資源である遺伝子改変マウスなどを、効率よく系統保存するシステムです。

CARDでは、研究者から送られてきたマウスを用いて体外受精を行います。  
得られた胚・精子を液体窒素中で保管し、必要時に生体マウスを作製して研究者にお送りします。  
これにより、マウスの維持管理労力の軽減・病原微生物感染マウスの清浄化などが可能となります。

さらに“有償バンクシステム”では、マウスに関する情報が秘匿されます。従って、第三者にマウスの情報が漏れたり、胚・精子・個体を分与することはありません。(研究者が許可した場合は、この限りではありません)

## マウス保管サービス

マウスをCARDにお送り頂き、胚・精子を保管いたします。ご依頼に応じ、随時マウス個体を作製して研究者にお送りします。

ご依頼例と料金(以下の例は、ご依頼頂く研究者が国立大学法人等に所属する場合のものです。詳細は料金表をご参照下さい)

例1 マウスをCARDにお送り頂き体外受精を行って、凍結胚・精子を保管する場合(3年間保管)

1)+ 4) X 3年 = 146,864円 + 10,800円 X 3年

例2 マウスをCARDにお送り頂き体外受精を行って、凍結胚・精子を保管する場合(2年間保管)。

さらに、保管された胚を使って、マウスの個体作製を1回依頼された場合。

1)+ 4) X 2年 + 6) X 1回 = 146,864円 + 10,800円 X 2年 + 33,480円 X 1回

\*保存期間は、最大5年までです。それ以後は、研究者に凍結胚・凍結精子をお返すか、CARDマウスバンク(マウスに関する情報がWeb上で公開されますが保管料は無料になります)に預け先を変更するか、ご相談頂くことになります。

研究室にすでに凍結胚・凍結精子をお持ちの場合は、それらをCARDにお送り頂いて、マウス個体を作製することが出来ます。  
どのような手法で凍結されたものでもCARDにお送りいただければ、マウス個体を作製して研究者にお返しいたします。

## マウス個体作製サービス

マウスの凍結胚・凍結精子をCARDにお送り頂き、マウス個体を作製いたします。

ご依頼例と料金(以下の例は、ご依頼頂く研究者が国立大学法人等に所属する場合のものです。詳細は料金表をご参照下さい)

例1 マウス凍結胚をCARDにお送り頂き、個体作製する場合。

6) = 33,480円

例2 マウス凍結精子をCARDにお送り頂き、個体作製する場合。

5) = 111,256円

## 料金表

	胚/精子の凍結 1)	精子の凍結 2)	胚の凍結 3)	保存期間 1年ごとの料金 4)	個体で返還するときの料金	
					精子から5)	胚から6)
研究者が国立大学 法人等に所属の場合	146,864円	34,544円	112,320円	10,800円	111,256円	33,480円
研究者が 上記以外の場合	190,930円	44,910円	146,020円	14,040円	144,640円	43,530円

注) 胚・精子の凍結保存期間は、最大5年までとなっています。

【お申し込み・お問い合わせ先】

〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘2-2-1 熊本大学生命資源研究・支援センター 胚凍結保存窓口

TEL: 096-373-6575 FAX: 096-373-6566 e-mail: card@gpo.kumamoto-u.ac.jp

http://card.medic.kumamoto-u.ac.jp/card/japanese/gyoumu/orderexsecret.html